

＜2013年度 政策・制度 要求と提言概要＞

I. 雇用・労働

1. 若年層の雇用対策強化
2. 高齢者の雇用対策強化
3. 障がい者法定雇用率の向上（継続）
4. 職業紹介の連携強化
5. 新たに人を雇う企業への優遇措置の実施
6. 中小企業支援の強化
7. 労働相談体制の連携強化

II. 防災

1. 地域防災計画の周知徹底
2. 行政の防災対策の充実
3. 防災訓練の実施と参加促進
4. 火災警報器などの設置促進

III. 行政運営

1. 公契約条例の制定（継続）
2. ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）実現に向けた入札制度改革

IV. 福祉・社会保障

1. 子どもを社会全体で育てる環境整備の充実（継続）

V. 教育

1. キャリア教育の充実（継続）
2. 豊かな心を育てる教育の推進（継続）

VI. 農業

1. 農業を担う人材育成の強化

VII. 環境

1. ゴミの資源化による廃棄物処理量削減（継続）
2. 環境負荷低減に向けた先進環境車、電動二輪車の普及拡大
3. 群馬県の特徴を生かしたエネルギー分野の研究・開発及び環境推進計画を推進すること（継続）

VIII. 喫緊の課題

1. 被災地県産品の消費による支援の実施
2. 放射能汚染対策の実施（継続）
3. 住民参加のまちづくりの推進
4. 投票率向上に向けた体制強化
5. 障がい者証明の利便性向上

政策フォーラム開催！一般県民を含む200名が参加

8月25日、前橋市総合福祉会館において、2012年政策フォーラムを開催し、産別・地協、議員懇、一般県民を含む200名が参加しました。

はじめに富澤副会長より、「今年も組織内外の11,747名の県民の皆さんにご協力いただいた意識調査をもとに、結果を分析して政策を策定しております。調査へのご協力ありがとうございました」との挨拶がありました。

その後、山端副事務局長から調査の結果概要と提言内容の考え方を説明し、意見交換を行いました。

参加者からは、雇用・労働、キャリア教育について「ジョブカフェの成果はあるのか」、「キャリア教育では、希望する仕事に就けないことも含めて教える



調査結果と次年度に向けた政策について説明

必要があるのではないか」、「地元で働くことが強く感じられるが、海外で働くことも含めた教育が必要ではないか」、「農業だけでなく林業分野などへの提言も必要ではないか」などの意見が出されました。

環境分野では、「エコカー減税を行うことよりも、県民の環境への意識を高める必要があるのではないか」や喫緊の課題として「被災地への経済的な支援が必要な事は理解できるが、群馬県も風評被害にあっているので、対策を求めるべきではないか」、「投票率が低下しているのは行政だけの問題ではないと感じる」など多くの意見が寄せられました。

山端副事務局長は「今後の論議のなかで、どのように政策に反映できるか検討したい」と話しました。



意見交換の様子